

展示物

①東日本大震災、南海トラフ巨大地震、高速道路等の役割を紹介するパネル（例）

■南海トラフ地震

きよ たい じ しん つ なみ

巨大な地震・津波

巨大な地震・津波が発生。さらに通行不可能となる道路が多数発生し、生活に大きな影響を与えることが想定されます。

●地震震度分布

●津波の最大値と1mの津波到達時間

●道路の閉塞率

建物倒壊や津波浸水等により、幅員の狭い道路を中心に道路が閉塞し、通行支障が発生する割合

国土交通省 四国地方整備局

■防災・減災の取組

「四国8の字ネットワーク」津波から高台へ逃げる

避難用階段・避難路の設置

津波が押し寄せる地域の高台の道路には、避難用階段や避難路の設置を進めています。これにより、地域の方々が迅速に安全な場所に避難することができます。

愛媛県宇和島市坂下津地区 宇和島道路

避難場所

避難用スロープ

非常用進入路

国土交通省 四国地方整備局

高速道路区域への津波避難場所設置に向けた取り組み 【徳島県】

沿岸部の市町には、「津波避難困難地域」が多数存在

本県では、東日本大震災以前より、高速道路のり面が津波避難場所として有効であると着目し、機会ある毎に政策提言を実施

H23.5 【政策提言】
「津波避難場所を占用許可施設」として道路法施行令に明記すること

H23.8 提言を具現化する独自の取り組み

H25.4 道路法施行令の改正が実現

H26.2 この取り組みをさらに加速

効果

- 住民の安全・安心
- 津波避難困難地域の解消
- 津波避難場所設置に伴う費用負担軽減

約4,100人の津波避難場所を確保

「助かる命を助ける」という理念

◆道路が持つ付加価値

◆道路はつながってこそ効果を発揮

地域防災力の向上!

本線の整備促進を!!

徳島自動車道（鳴門JCT～徳島IC）

平成27年3月14日開通

浸水深(m)

- 10.0～
- 5.0～10.0
- 4.0～5.0
- 3.0～4.0
- 2.0～3.0
- 1.0～2.0
- 0.3～1.0
- 0.01～0.3

富吉地区 600人収容

米津地区 800人収容

中村地区 350人収容

太郎八須地区 900人収容

松茂PA背後地 630人

長岸地区 210人収容

大幸地区 450人収容

段岡地区 200人収容

徳島県津波浸水想定(H24J01)